

# NEWS RELEASE



2020年10月30日

横浜市

日本財団

株式会社セブン・イレブン・ジャパン

## 政令指定都市初！今年度中に120店舗で設置予定

### 横浜市内のセブン-イレブン店舗でペットボトル回収機を設置

～10月30日（金）より順次稼働し、リサイクル・海洋ごみ対策を促進～

横浜市（市長：林 文子）と日本財団（東京都港区、会長：笹川 陽平）、株式会社セブン・イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、限りある資源の有効な活用と海洋プラスチックごみ対策を目的としたペットボトル回収事業を開始いたします。

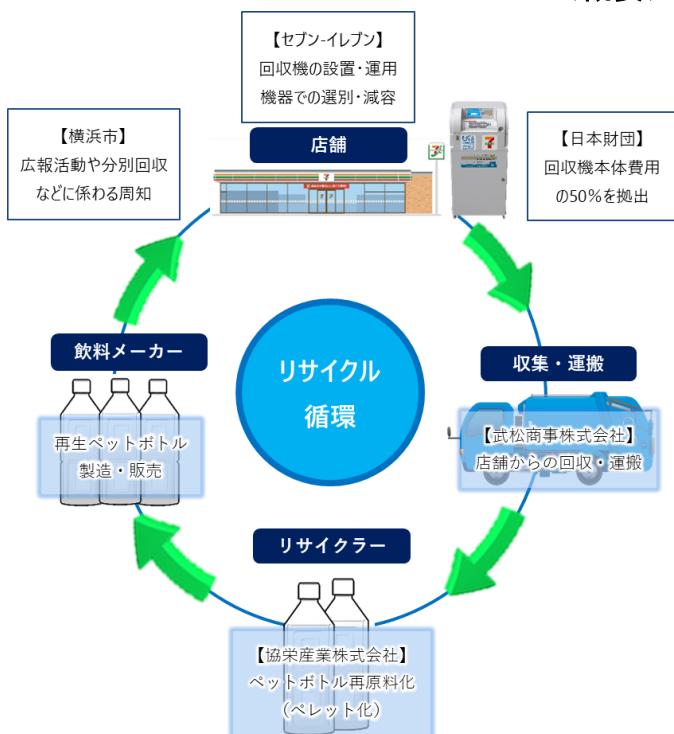
実施にあたり、横浜市内のセブン・イレブン 120 店舗に『ペットボトル回収機』を新たに設置し、地域の皆様と共に、ボトル to ボトル<sup>\*1</sup>によるプラスチックのリサイクルと海洋ごみ対策を促進してまいります。

「SDGs 未来都市」として、横浜港の水環境改善に向け「豊かな海づくり事業」に取り組んできた横浜市、様々なステークホルダーと共に海洋ごみ対策を推進する日本財団と、グループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』のもとプラスチック対策の一つとして『ペットボトル回収機』の設置を推進するセブン・イレブン・ジャパンが、互いの活動に賛同し、産官民が連携する本取り組みが実現いたしました。

三者の協同により、地域社会と一緒にしたペットボトルリサイクル活動に取り組み、“循環型社会”的な実現と海洋プラスチックごみの削減を進めてまいります。

\*1 ペットボトルを再原料化し、もう一度ペットボトルに戻すこと。

#### ＜概要＞



#### 【三者の役割】

##### 横浜市

- 本事業の周知および正しい分別について、市民への浸透を図る。

##### 日本財団

- セブン・イレブン店頭に設置するペットボトル回収機について、本体費用の50%を拠出。

##### セブン・イレブン店舗

- 回収機の運用および回収資源の管理

##### 【ペットボトル回収機】

<開発メーカー>  
株式会社寺岡精工  
<機器サイズ>(単位: mm)  
W650×D500×H1330  
<収容量>  
ペットボトル約 280 本  
※500ml ペットボトル換算



#### ＜ご参考＞

セブン・イレブンでは、2017年より店頭への『ペットボトル回収機』の設置を開始し、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県、沖縄県内の432店舗（2020年10月30日現在）で稼働しております。

以上